

泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	資料5-3
提出年月日	令和5年4月25日

(有効性評価 付録3 原子炉格納容器からの漏えいに関するエアロゾル粒子の捕集効果の設定について)

ID	No	コメント内容	ヒアリング日	対応状況*	回答完了日	回答概要	資料反映箇所	積み残し事項の回答予定時期
230207-01	1	レベル2 PRAにおけるDFの設定値について、考え方を整理して説明すること。	R5. 2. 7	回答済	R5. 3. 1 ヒアリング	レベル2 PRAにおいては、NUPEC試験の結果を用いてDF10を適用はしない。		
230207-04	2	比較表 付録3-36ページ) 「NUPEC試験では～BWR実機の貫通部と比較し若干の違いはあるものの」に関して、貫通部の構造の「若干の違い」について、PWRとBWRの類似点、相違点を明確にし、説明すること。	R5. 2. 7	回答済	R5. 3. 1 ヒアリング	図を用いて形状の類似点と相違点を明確化した。 類似点は、シール構造であり、相違点は、各部の形状の大きさや配管径、電線の本数である。	第461回ヒアリング 資料7-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録3 原子炉格納容器からの漏えいに関するエアロゾル粒子の捕集効果の設定について (SAE10 r. 1. 0)』 p. 37, 39 第461回ヒアリング 資料7-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録3 原子炉格納容器からの漏えいに関するエアロゾル粒子の捕集効果の設定について (SAE10-9 r. 1. 0)』 p. 付録3-36, 37	
230207-05	3	比較表 付録3-33, 35ページ) 先行審査実績と同様に、シール部の構造の図を掲載する等、記載を拡充すること。	R5. 2. 7	回答済	R5. 3. 1 ヒアリング	図を用いてフランジガasket部の構造を掲載した。併せて、耐温性に関する記載を拡充した。	第461回ヒアリング 資料7-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録3 原子炉格納容器からの漏えいに関するエアロゾル粒子の捕集効果の設定について (SAE10 r. 1. 0)』 p. 33～35 第461回ヒアリング 資料7-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録3 原子炉格納容器からの漏えいに関するエアロゾル粒子の捕集効果の設定について (SAE10-9 r. 1. 0)』 p. 付録3-33, 35	
230207-10	4	PPT4ページ) 対象として緊急時対策所 (61条) も含まれるか確認の上、反映すること。	R5. 2. 7	回答済	R5. 3. 1 ヒアリング	DF10を緊急時対策所 (61条) へ適用するか確認した結果、原子炉格納容器の破損を想定しているため、DF10は適用しないことを確認した。	第461回ヒアリング 資料8『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価「原子炉格納容器からの漏えいに関するエアロゾル粒子の捕集効果について」「雰囲気圧力・温度による静的負荷 (格納容器過圧破損)」「原子炉圧力容器外の熔融燃料-冷却材相互作用」「熔融炉心・コンクリート相互作用」』 p. 4	
230301-01	5	比較表 付録3-35) 機器ハッチだけでなく、エアロック等も同様に示すこと。	R5. 3. 1	本日回答		機器搬入口 (機器ハッチ) に加え、エアロック、閉止フランジの断面図を追加した。	資料5-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 付録3 原子炉格納容器からの漏えいに関するエアロゾル粒子の捕集効果の設定について (SAE10 r. 2. 0)』 p. 35 資料5-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 付録3 原子炉格納容器からの漏えいに関するエアロゾル粒子の捕集効果の設定について (SAE10-9 r. 2. 0)』 p. 付録3-35	

* : 検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。